



Q&A

外部に使う製品ですが耐久性や寿命はどうか？

メーカー自社工場にて4m×4mサイズの製品で一万回の昇降試験運転の実績があります。これは毎日2回昇降運転を行ったとして13年と8ヶ月余りという計算になります。ヨーロッパでは、メーカーは2000年から販売していますが、平常作動生活において破損の報告はあがってきておりません。

強風に対する耐久性はどうか？

ヨーロッパにおける船舶関連の基準 (Beaufort) において、幅4.5mのスラットでは風速13.6m/秒に耐えることが実証されています。ISOTRAはヨーロッパにおける外付けブラインド規格EN13659+A1に則った製品です。

※強風時にはスラットを巻き上げて使用することを推奨します。

風でスラットが揺れてうるさくないですか？壊れませんか？

スラットの揺れやそれによる振動音は出ますが、スラット両サイドのガイドレールが支えているためうるさいレベルには達しません。日常生活の風力では壊れることもありません。

※サイドガイドレール仕様にて実証したメーカー情報です。

Price価格表は別紙にてご案内となります。お問い合わせください。

※製作幅寸法・高さ寸法・納期の詳細は別紙価格表をご覧ください。



省エネ建築のマストアイテム
外付け遮蔽ブラインド

イソトラ 【サイドガイドレール仕様】

Vol.3





ヨーロッパでの耐風圧試験認定取得

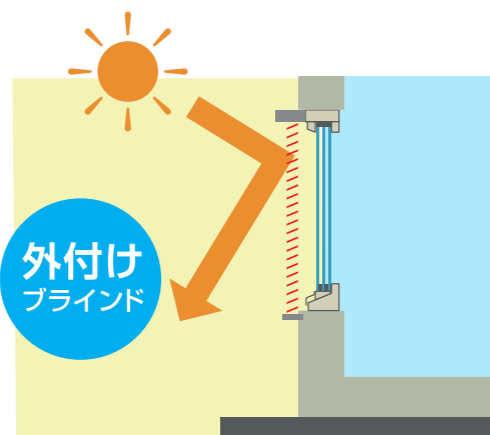
太陽熱を約80%カットし冷房負荷を大きく低減!

“外付け”遮蔽ブラインド【イントラ】

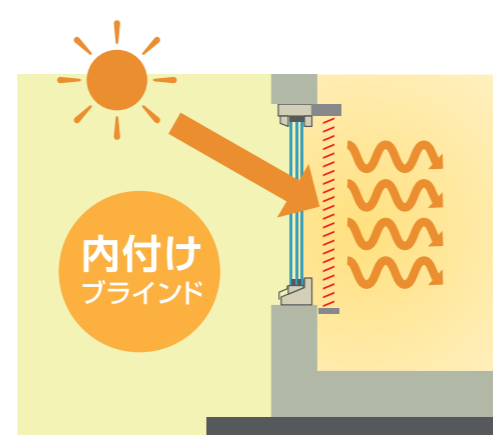
外付けブラインド【イントラ】は日差しを窓の外で遮ることで、室温の上昇を防ぎ、室内を快適に保つことで冷房費を節約するブラインドとして、環境先進国のヨーロッパで多くの住宅に普及しています。スラット(羽)の角度を調整することで、外部からの視線をブロック。一年を通してプライバシーを確保しながら心地よい光と外気を取り入れることができます。

「夏涼しい」を実現する“外付け”ブラインド

夏の最高気温が年々上昇し続ける一方で、冬の寒さが昔から厳しい日本において、外付けブラインドは一年を通じて夏は涼しく冬は温かく、快適かつ冷暖房費を削減することができる合理的な省エネ建材です。窓の内側でカーテンやブラインドを吊って遮蔽しても、太陽熱が窓ガラスやカーテン、ブラインドを温めてしまうことで、暖房パネルのような役割で室内を温め続けます。この不快な熱を窓の外側でカットすることで冷房効率を格段に向上させることが可能です。また冬の日差しもブラインドの角度調節で取り入れることで、プライバシーを守りながら効果的に部屋を温めることが可能です。

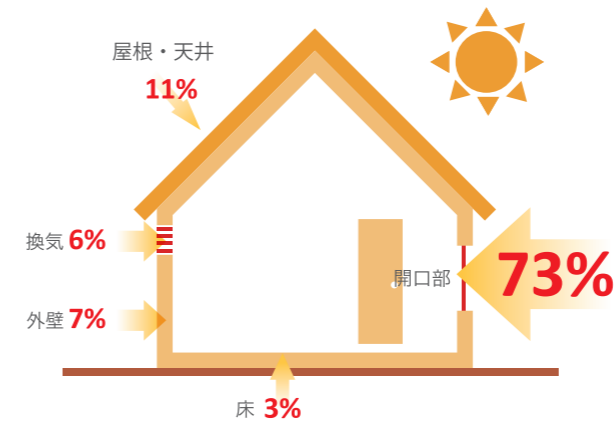


日差しが侵入する前に外側で日射をシャットアウト!



日差しが室内に侵入し、ブラインド本体や室内が熱くなってしまいます。

冷房負荷の軽減は“外付け”ブラインドが日射遮蔽No.1!!



平成25年の省エネ基準では、窓周りの省エネ基準が重要になり、断熱や日射取得・遮蔽の対応が急務となりました。すでに窓メーカー各社は住宅性能値を向上させる手段として開口部の高性能化が急速に進んでいます。

しかし窓性能を向上させても窓から侵入する熱は住宅全体の約70%と言われています。これは壁や屋根よりはるかに大きい割合となります。窓の日射遮断で一番効果を発揮するのは外付けブラインドです。

日射を的確にカットすることで、冷房に使用するエネルギーを削減することができます。

ガラスの仕様		日射熱取得率			
		付属部材なし	和障子	外付けブラインド	
三層構造	2枚以上のガラス表面にLow-E膜を使用したLow-E 三層複層ガラス	日射取得型	0.54	0.34	0.12
		日射遮蔽型	0.33	0.22	0.08
	Low-E 三層複層ガラス	日射取得型	0.59	0.37	0.14
		日射遮蔽型	0.37	0.25	0.10
三層複層ガラス		0.72	0.38	0.18	
層複層	Low-E 二層複層ガラス	日射取得型	0.64	0.38	0.15
		日射遮蔽型	0.40	0.26	0.11
	二層複層ガラス	0.79	0.38	0.17	
単層	単板ガラス2枚を組み合わせたもの ^{注)}	0.79	0.38	0.17	
	単板ガラス	0.88	0.38	0.19	

注)「単板ガラス2枚を組み合わせたもの」は、中間部にブラインドが設置されたものを含むものとする。

注)日射取得型、日射遮蔽型の区分については、JIS R3106の夏季の日射熱取得率の値が0.5以上のものを「日射取得型」、0.5未満のものを「日射遮蔽型」と判断する。なお、ガラスの層数、ガラスの厚み、中空層厚み、Low-Eガラスの配置、中空層の気体の種類等によらず、次に示す基本構成のLow-E複層ガラスの日射熱取得率の値で日射区分を判断してもよい。(以下、同じ。)

基本構成のLow-E複層ガラス：[室外側]Low-Eガラス(3mm)+空気層(12mm)+透明フロート板ガラス(3mm)[室内側]

※国立研究開発法人建築研究所のホームページ「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)次期更新版」の第三章第四節日射熱取得率

スラット昇降イメージ



任意の高さで開



任意の高さで閉

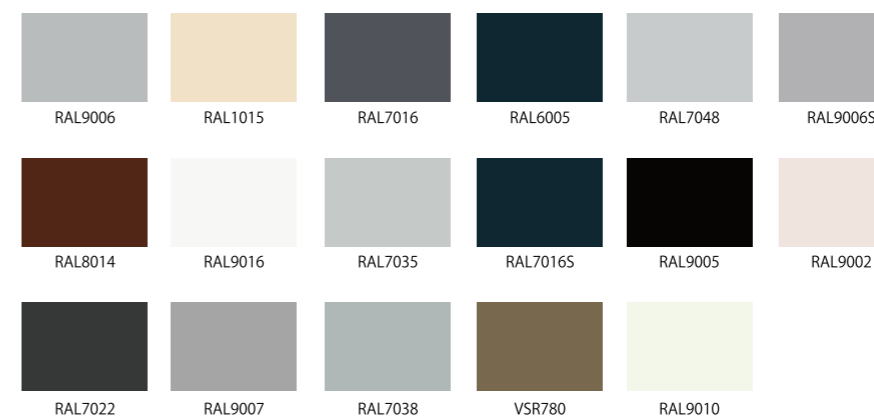


全閉

仕様

形式	Cetta80
電源	単相100V/50・60Hz
操作方法	電動有線リモコン
製作可能幅	500~4,000mm
製作最大面積	10m ²
スラット形状	C型(ロール型)
スラット重量	1.12kg/m ²
スラット幅	80mm
スラット厚み	0.4mm

カラーバリエーション



開閉電動リモコン仕様



通常使用時のスラットの昇降と角度調整をツマミのボタンを左右に動かすことで行えます。